



**ViECO**  
Technologies

# 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算補足説明資料

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社



2022年 11月11日

証券コード:6698

1. 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要
2. 2023年 3月期 通期業績見通し

**1. 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要**

**2. 2023年 3月期 通期業績見通し**

## 2QTR累計期間における受注額は増加したが、売上高は前年比▲22.1%

- 2QTRの受注額は前年同期比+8.3%、期末の受注残高は前年同期比+62.4%増加したものの、売上計上時期のずれにより減少。（一部は半導体・電子部品不足の影響による売上計上時期の後倒し。）
- 前年同期は、前々期後半から継続していたスマホ向け電子部品検査用途の大型案件が売上に寄与したが、今期は関連設備投資が一巡したことにより減少。
- 中国は、ロックダウンに伴う営業活動の停滞、スマホ減速により売上減少。

1

## 最終用途別売上構成に大きな変動

- 前年同期対比でスマホ向けが大幅に減少。
- 各電子部品、コネクタメーカーもスマホ用途から車載その他用途へシフトする動きが顕著。

2

## 東南アジア拠点が堅調に推移

- タイ・マレーシア拠点は、ハードディスク、コネクタ用検査を中心に好調。
- ベトナムへの本格進出に着手。ハノイを拠点とした現地法人を2022年12月新設、2023年1月営業開始予定。

3

## 営業活動が正常化

- 新型コロナ制限解除に伴い、営業活動正常化。
- 中国は、ロックダウンにより営業活動が停滞。現在は正常化しつつある。
- 人的投資の継続による人件費、営業関連費用増加で販売費及び一般管理費は前年比+8.9%。

4

# 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 連結決算ハイライト

## Point

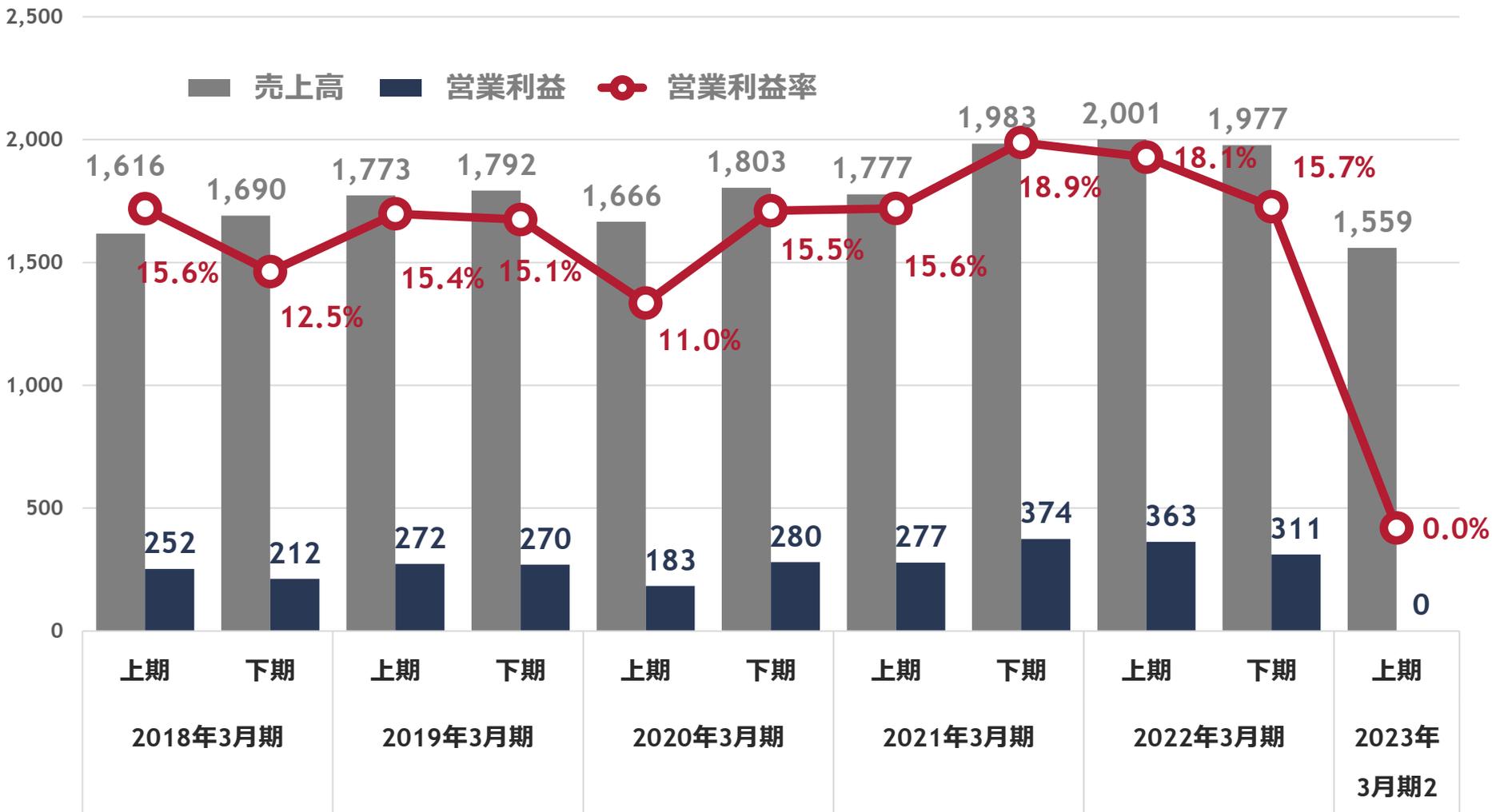
- 売上高は、全体でスマホ向けが大幅に減少。中国でのロックダウンの影響による営業活動の停滞、スマホ投資が減速したことによる減少。
- 上期における半導体不足、仕入価格の高騰による影響は軽微であったものの、下期業績への影響は不透明な状況。
- コロナ制限解除に伴う営業活動活性化により、営業関連費用の増加。
- 人員増強、本社増床等に伴う固定費の増加により減益。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期 比較
	2 <sup>nd</sup> QTR 実績	2 <sup>nd</sup> QTR 実績	
売上高	2,001	1,559	▲441 77.9%
営業利益	363	0	▲362 0.2%
経常利益	376	15	▲360 4.2%
親会社株主に帰属する純利益	245	▲23	▲269 -%
1株当たり純利益 (単位：円)	39.15	▲3.84	▲42.99 -

# 連結売上高・損益推移

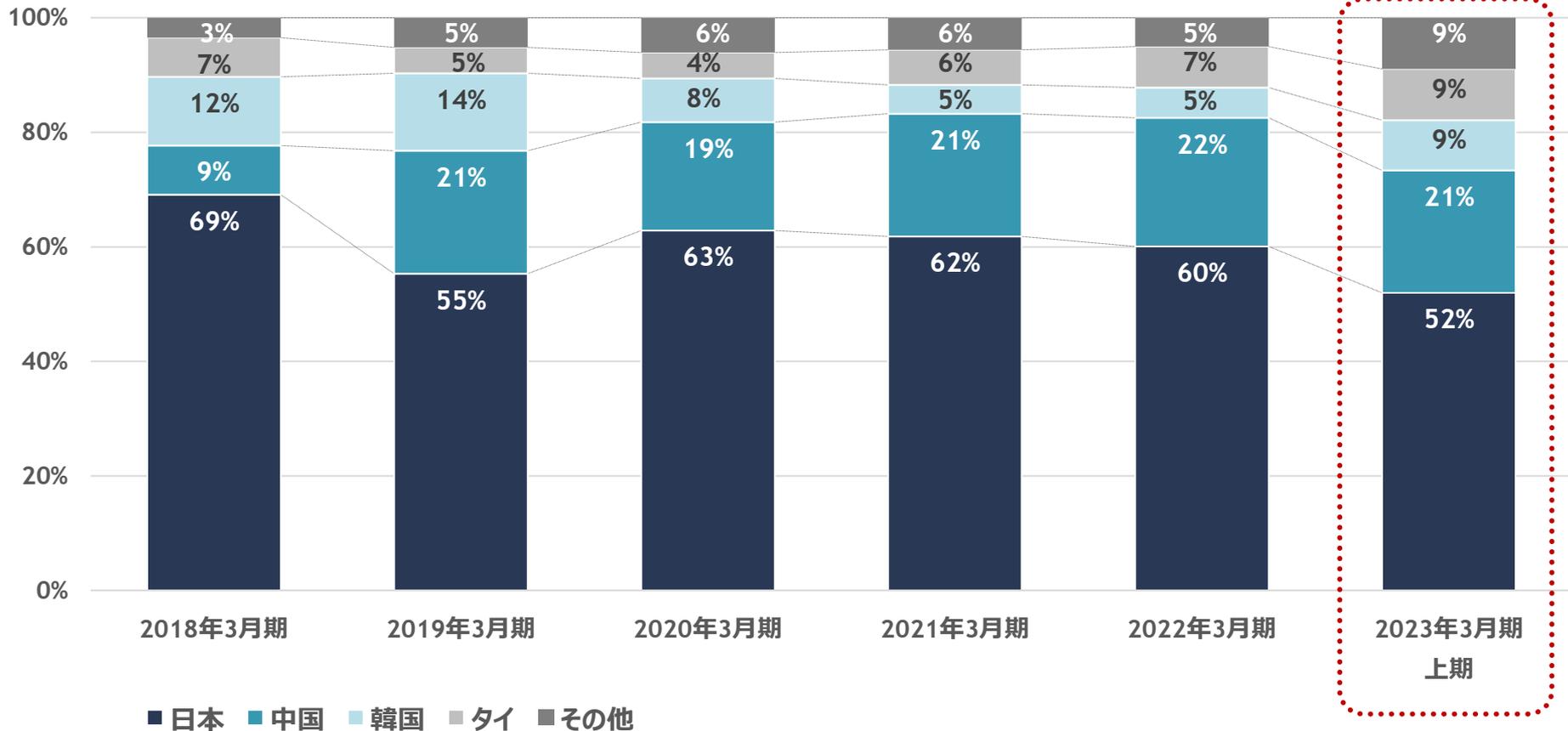
(単位：百万円)



# 得意先地域別売上高推移(連結)

## Point

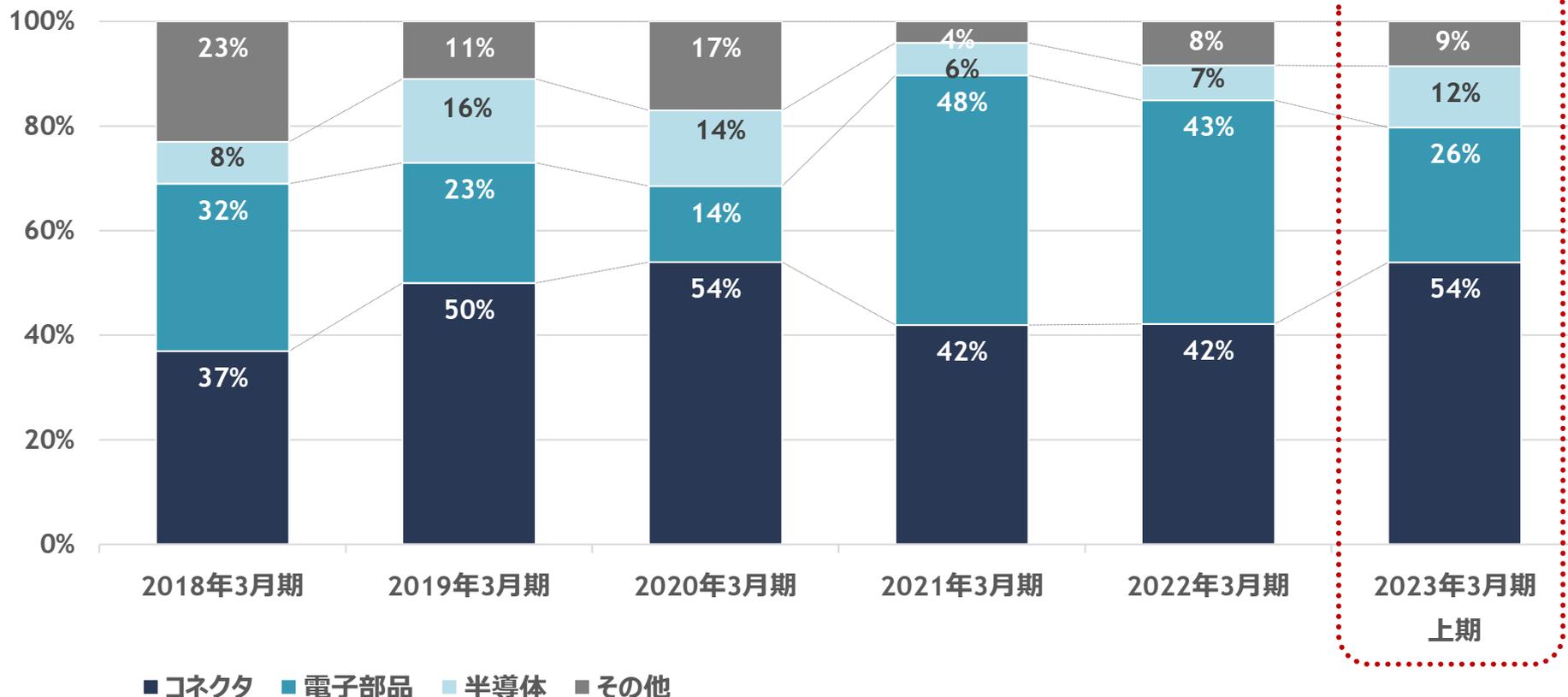
- ▶ スマホ用電子部品減少により全体の日本国内比率が低下、国内・海外比率が同等水準に推移。
- ▶ 中国売上高構成比は、中国の景気減速、ロックダウン等の影響等により微減。
- ▶ 韓国は車載関連用途が増加し、全体の構成比が上昇。タイは堅調。マレーシアは順調に成長。



# 検査用途別売上高構成推移(連結)

## Point

- スマホ検査用の電子部品が大きく減少したことで電子部品比率が低下。
- コネクタは、スマホ用途から車載用途へのシフト加速で新規案件を獲得し堅調。
- 半導体は半導体装置メーカー向けを中心に増加。

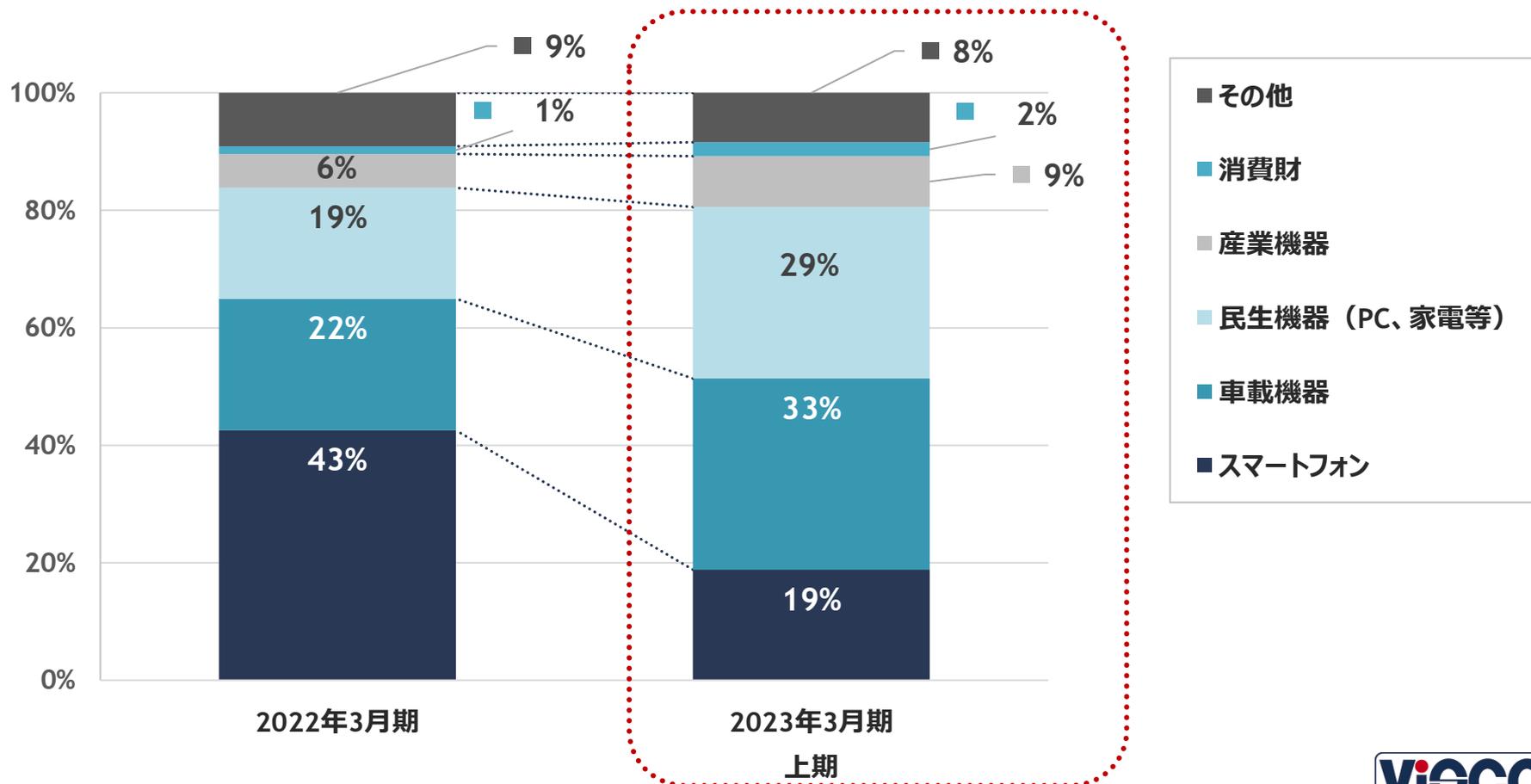


注) 従来「その他」の用途に含めていた内容を精査し、LED検査など、一部電子部品領域に近いものを2021年3月期より「電子部品」にて集計しております。

# 最終用途別売上高構成(連結)

## Point

- スマホ向けは、主力の電子部品及びコネクタが国内・中国ともに減少。期待したモデルチェンジ需要が低調に推移。
- 車載向けは、EV用部品の深耕によりコネクタ、電子部品を中心に伸長し前年対比で増加。



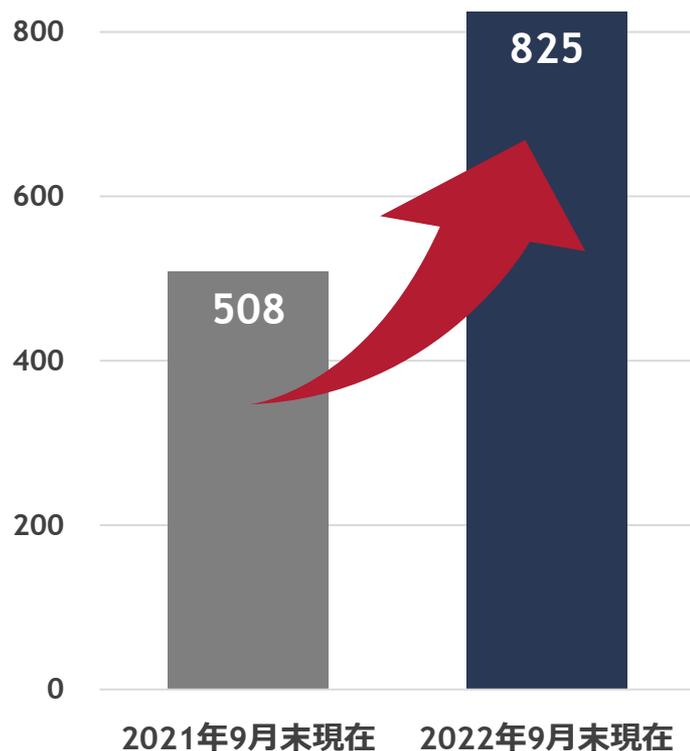
# 2022年 9月末現在 受注の状況

## Point

- 2QTRの受注額は、前年同期比+8.3%、車載用など電子部品の新規案件受注等。
- 2QTR期末受注残高は、+62.4%と増加。

## 受注残高の推移

(単位：百万円)



## ▼受注残高

(単位：百万円)

2021年9月末現在	2022年9月末現在	前年同期比較
508	825	+317 162.4%

## ▼受注金額

(単位：百万円)

2022年3月期上期	2023年3月期上期	前年同期比較
1,762	1,908	+145 108.3%

# 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 連結貸借対照表

2022年 3月期末

2023年 3月期  
上期末

(単位：百万円)

現預金 2,258	
	流動負債 685
	固定負債 326
その他流動資産 1,811	純資産 3,542
固定資産 485	

現預金 2,721	
	流動負債 800
	固定負債 308
その他流動資産 1,408	純資産 3,511
固定資産 490	

総資産 4,555  
自己資本比率 74.5%

総資産 4,620  
自己資本比率 71.9%

純資産  
前期末比較  
▲0.9%

自己資本比率  
前期末比較  
▲2.6 pt

## 価値創造のための開発投資 成果

- 新市場開拓のためのVTV-Edgeリリース。
- AI-とルールベース画像処理を融合したVTV-AI Studioリリース。
- 汎用マシンであるVTV-9000に更に新機能を搭載し差別化。
- 次世代マシンを想定した研究開発継続中。

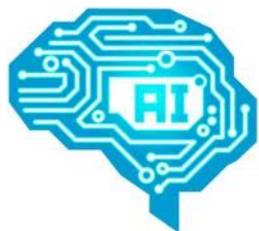
Point

## 2023年 3月期 上期実績

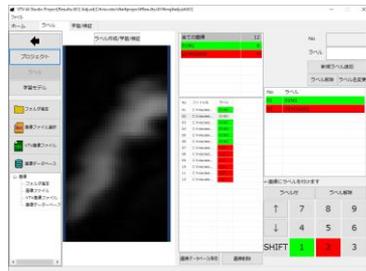
(単位：百万円)	1 <sup>st</sup> QTR	2 <sup>nd</sup> QTR	上期 計	通期計画 進捗率
設備投資 (ソフトウェア開発)	28	24	52	43.2 %
研究開発費	52	55	107	51.8 %
<b>合計</b>	<b>81</b>	<b>79</b>	<b>160</b>	<b>48.6 %</b>



AI画像処理とルールベース画像処理の各々の利点を融合した当社独自の画像処理システム

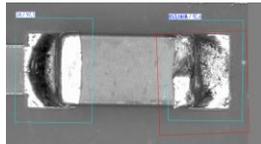
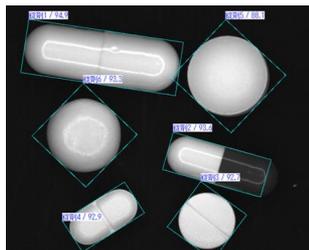
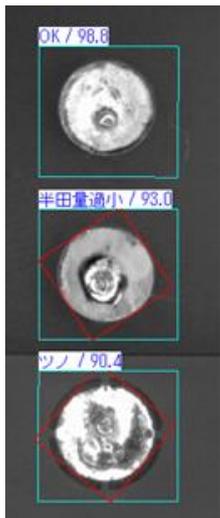


Rule-based



## VTV-AI Studio: AI学習ソフトウェア

AI学習のアノテーションを簡易化する為のソフトウェア



従来ルールベース画像処理で  
困難だった分類や検査に対応



## VTV-Edge ベーシックビジョンシステム

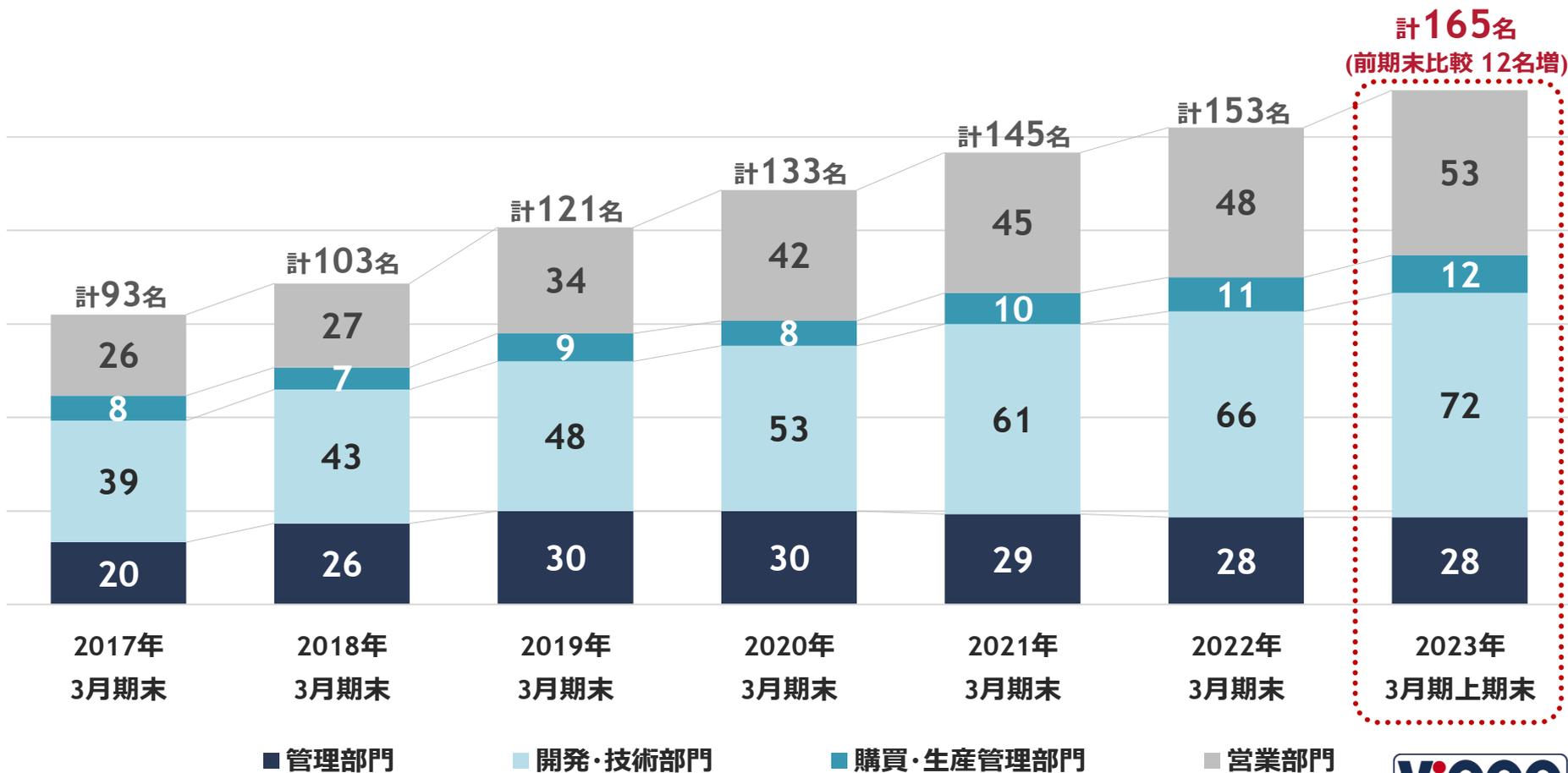
新たな産業領域の開拓向け商品のリリース  
業界動向や経済環境に影響されにくいポート  
フォリオの構築



# 部門別人員推移(連結)

## Point

- 若手ポテンシャル人材の積極採用継続。
- 2022年4月新卒入社7名。次期新卒採用も当期と同水準採用予定。
- グループ全体の活性化、技術・ノウハウの向上等を目的にグループ会社間の人事異動の推進。グローバル人材育成。



1. 2023年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要

2. 2023年 3月期 通期業績見通し

# 2023年 3月期 業績予想(連結)

## Point

- スマホ用電子部品投資は、通常は年明け以降 新モデル用に投資が活性化するが、スマホの販売台数低迷により現時点で不透明。
- 車載向けは、半導体不足の影響懸念があるものの、EV化の流れで堅調が続く見通し。
- 中国の景気減速が顕著で中国は前年比減収を予想するが、潜在市場は大きく拠点を増やし営業強化を継続。
- 東南アジア地域は前年対比で二桁成長を維持。
- 2QTR受注残高は前年対比で増加し、3QTR以降の売上に寄与するものの、上記状況を踏まえ通期業績予想を下方修正（下半期売上高は前年同期比+3.7%の予想）

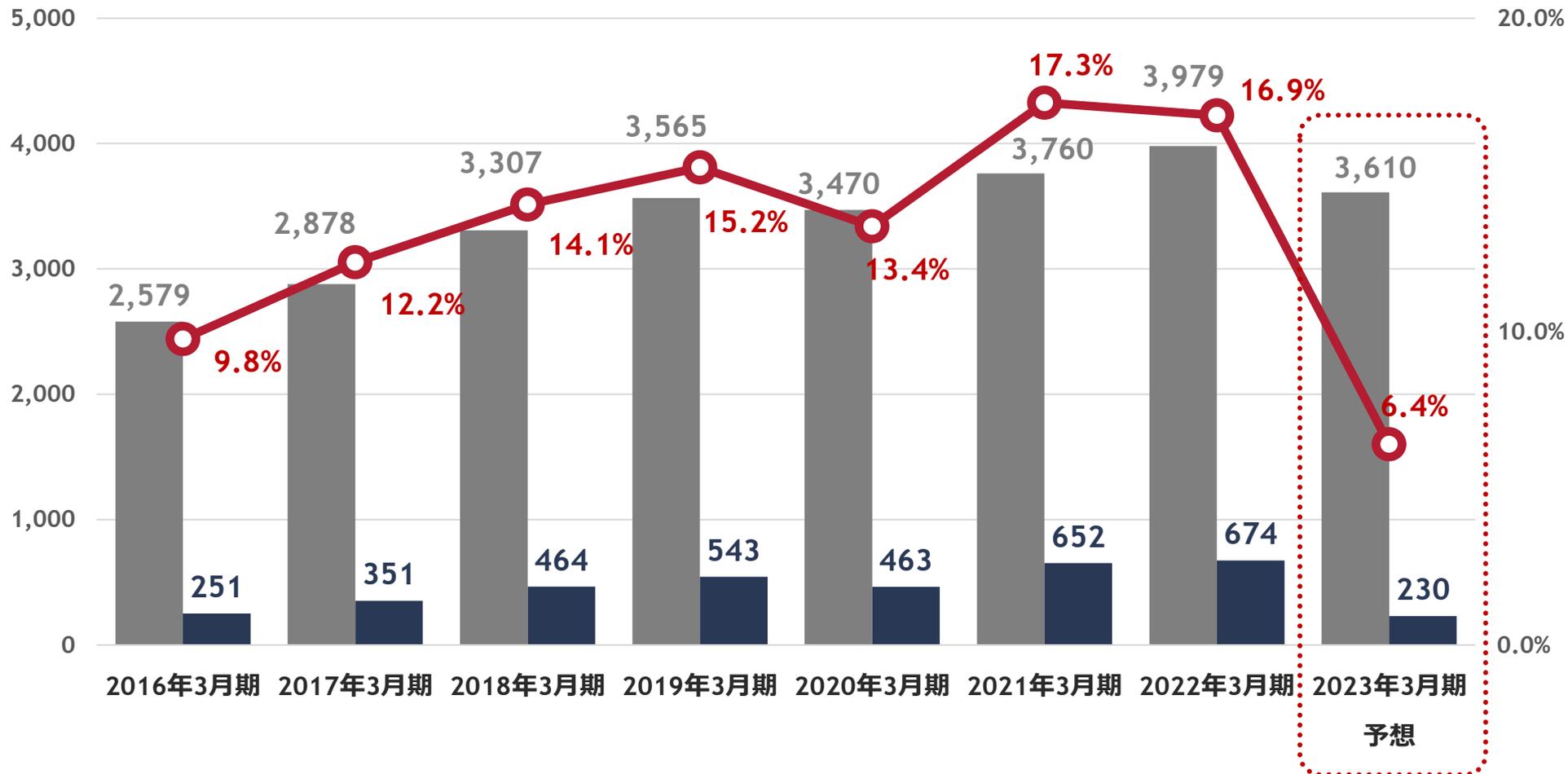
(単位：百万円)	2023年3月期 業績予想 ※( )は対前年実績増減率	2023年3月期 上期実績	計画 進捗率
売上高	3,610 (90.7%)	1,559	43.2%
営業利益	230 (34.1%)	0	0.3%
経常利益	260 (37.6%)	15	6.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	130 (28.0%)	▲23	-
一株当たり当期純利益 (単位：円) (注)	20.93 ( - )	▲3.84	-

# 連結売上高・損益 推移(予想)

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



# Appendix

---

## 会社概要

画像処理検査といえば “ ViSCO ”

画像処理技術を広めることにより  
豊かな社会づくりに貢献する

画像一筋

“究極の画像処理システム”  
を追及する

顧客満足度の高い画像ビジネスの  
トータル・ソリューションを創造し、  
画像処理システムクリエイターとなる

私たちは、画像処理検査に関するエキスパート集団です。  
画像技術 (Vision) 一筋に、  
さまざまな業種のお客様や技術・機器と強調 (Collaborate) して、  
新しい価値を創造する、おもしろいことが大すきな技術者集団 (Technologies) であることから  
社名を ViSCO Technologies としました。

当社は、お客様に画像処理検査装置の販売からアフターフォローにいたるまで、幅広い外観検査技術ソリューションを提供いたします。

## 高度な光学技術

対象物全体にピントが合う  
超深度カメラ



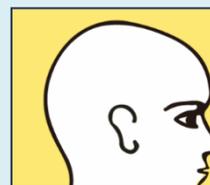
画像検査のカギ  
となる照明技術

RGB3色照明

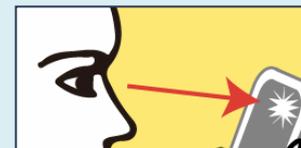
## 検査ニーズに応える 独自の画像処理アルゴリズム



知覚判断

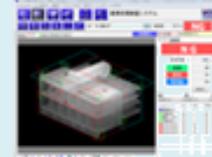


経験判断



認識

画像処理ソフトウェア



サンプル評価  
評価レポートの作成



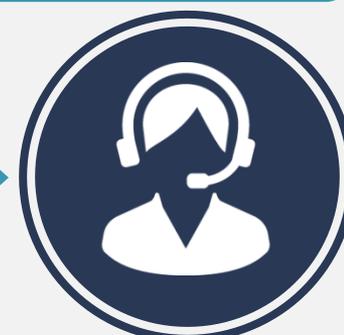
周辺機器の選定  
システム提案



導入サポート  
技術支援



トレーニングプログラム



アフターフォロー

## VTV-9000 シリーズ

VTV-9000シリーズは当社が独自に開発したソフトウェア **VisionManager** と、ハードウェアを一体化した筐体型画像処理検査装置で、60を超える高性能な外観検査アプリケーションを搭載しています。

### タイムタクト削減を実現する 高速ハードウェア

高精度な画像処理検査を実現する高速CPUを搭載。高解像度カメラを接続しても余裕の処理能力に加え、大容量ストレージを内蔵しているので、転送速度を気にすることなく検査画像の保存が可能に。

お客様の多様なニーズに応えるべく、処理速度・性能ともに優れたスタンダードモデルを中心に、コストパフォーマンスに優れたベーシックモデルからすべての機能を最大限に活用できるハイエンドモデルまで、ラインナップが豊富です。



ハイエンドモデル VTV-9000ST



### VT Digital カメラ

画像転送速度が超高速なカメラから、超高画素カメラまで、検査に最適なカメラを選べるよう類を見ないほどの豊富なラインナップを取り揃えています。

### 照明コントローラ

画像取り込みのタイミングに合わせたLED照明の点灯・消灯・調光の制御が可能に。

LED照明の接続数に応じて機種を選択できます。

### LED照明

画像処理検査の成功のカギとなる照明機器、当社では、当社エンジニアが豊富なラインナップの中から、検査に最適な画像を取得できる照明を選定し、提案します。

一般的な照明  
での検査画像



明るさが足りず検査  
が困難

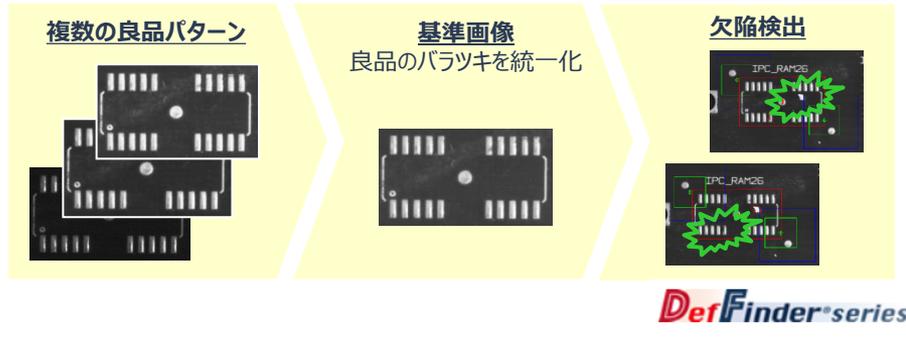
当社オリジナル  
高輝度LED照明  
での検査画像



最適な画像で検査が  
可能

## DefFinder®

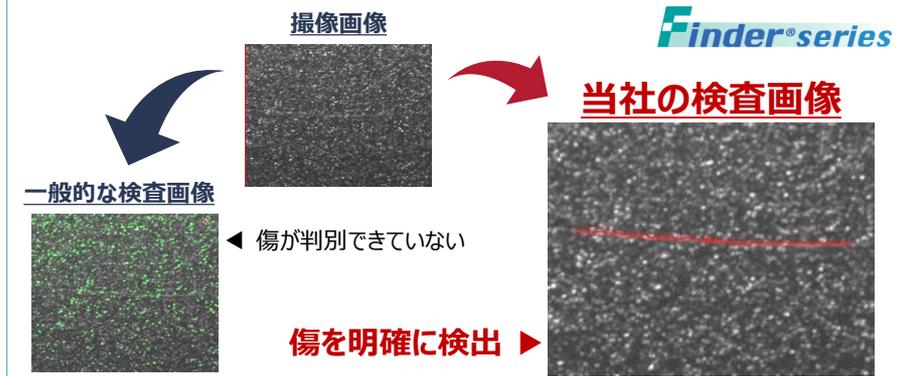
良品のパラツキを考えて欠陥だけを検出できるアプリケーション。複数の良品モデルを登録し、基準となる画像を認識することで、傷・汚れ・異物などの欠陥を検出する外観検査ソフトウェア。



## CrackFinder®

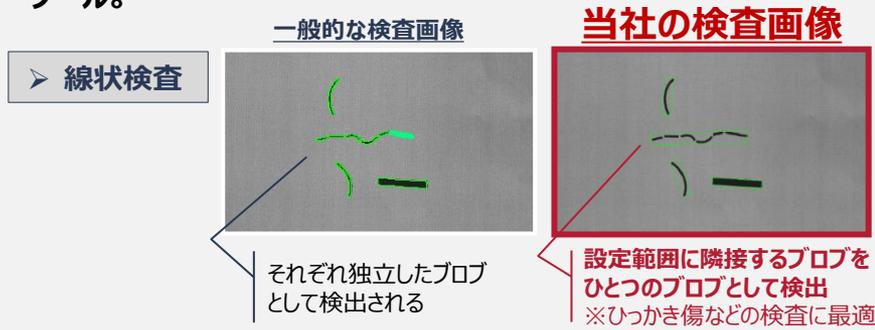
傷の判別が難しい素材でも、画像背景と傷を区別し、高精度な検出が可能なアプリケーション。

\* CrackFinder®は、当社が開発した特許技術が活用されています。



## 傷・異物検査

ブロボ® (Blob=塊) の有無、数、面積、位置などを検出するツール。



照明条件により影ができ画像検査が困難な円筒形の検査対象でも、照明反射なく傷のみを検出することが可能なツール。





## 公益社団法人精密工学会 画像応用技術専門委員会 主催 外観検査アルゴリズムコンテスト 受賞歴

2008年 特別賞 受賞

2009年 最優秀賞 受賞

2010年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2012年 優秀賞、ロジスティクス賞 受賞

2013年 優秀賞、特別賞 受賞

2014年 優秀賞、特別賞 受賞

2016年 優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

2017年 最優秀賞、レゾナンスバイオ賞 受賞

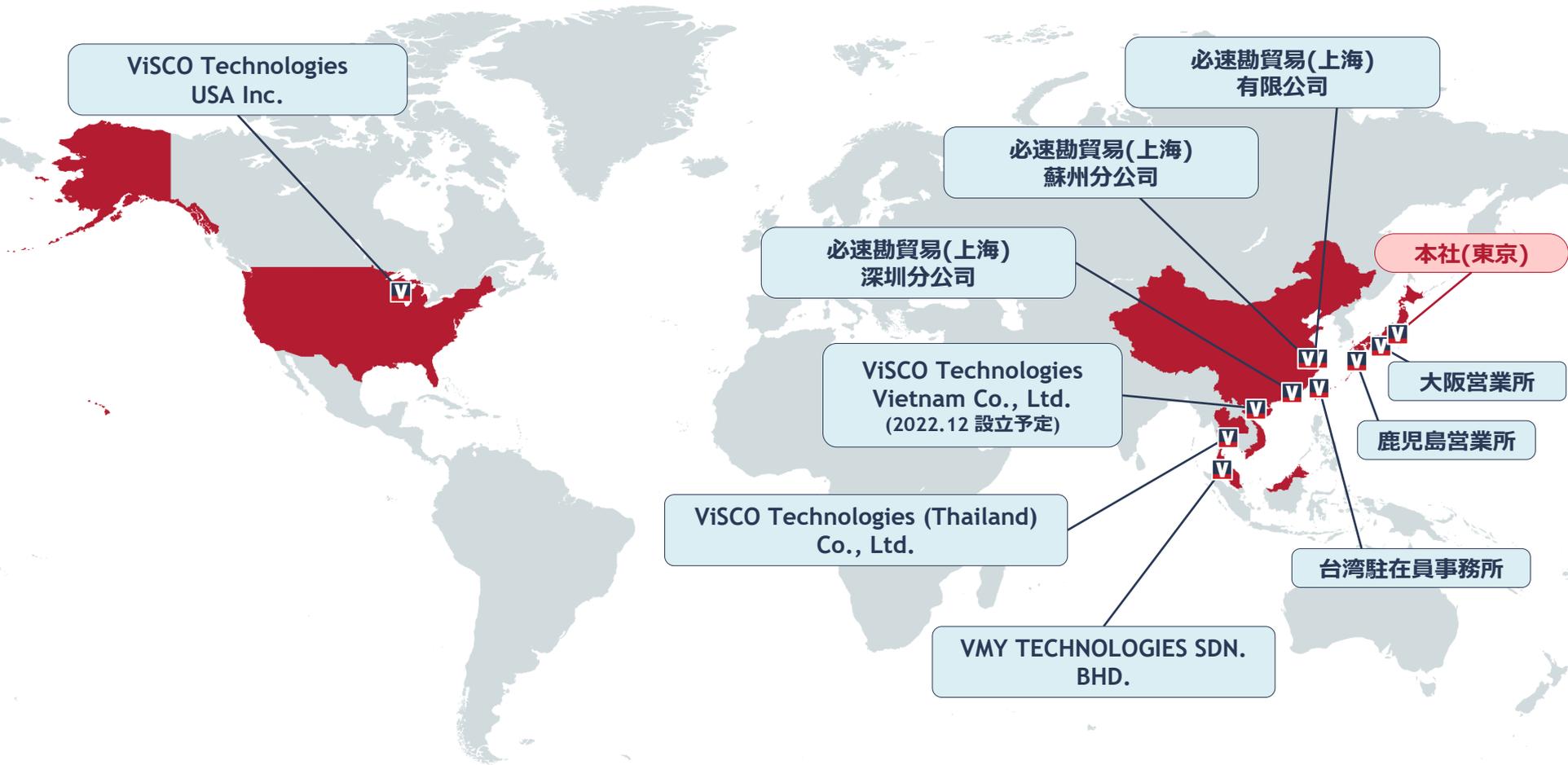
2018年 最優秀賞、レゾナンスバイオ大賞 受賞

2020年 優秀賞、理研ボクセル賞 受賞

2021年 最優秀賞、理研ボクセル大賞 受賞

外観検査アルゴリズムコンテストは、画像を用いた外観検査技術発展を目的に、主催：画像応用技術専門委員会、共催：国立研究開発法人理化学研究所 画像情報処理研究チームにより、毎年開催されております。







持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました2030年までの世界共通の国際目標です。SDGsでは、「誰一人取り残さない（No one will be left behind）」という基本理念のもと、SDGsが掲げる17の目標は、官民、営利、非営利、組織、個人の区別なく、持続可能な世界を目指し、皆で協力して取り組むことが求められています。

## サステナビリティ基本方針

---

ヴィスコ・テクノロジーズグループは

あらゆるステークホルダーの期待を受け止め

企業理念に掲げる「画像一筋」に従い

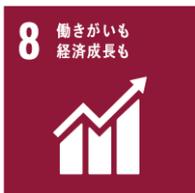
事業活動を通じて

持続可能な社会の実現と

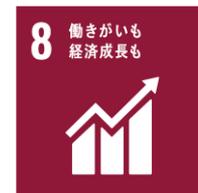
企業価値の向上を目指します

## サステナビリティ重点課題

### 事業活動による取り組み



### 事業活動を支える取り組み



当社グループは、当社製品・サービスをご提供することで、産業革新の促進、工場等の生産性や効率性の向上、働く人々の安心安全な労働環境確保を追求し続けてまいります。  
また、活発で多様性のある組織づくりを目指し、従業員の「幸せ」を追求するのと同時に、平和で公正な社会の実現に向けて事業活動を続けてまいります。

私たちは、**画像一筋**です。



2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置VTV-9000 シリーズ発売

2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies (Thailand)Co., Lte. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies USA, Inc. 設立

2017年 12月

東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月

東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

2019年 10月



VMY TECHNOLOGIES SDN. BHD. 設立

2022年 4月

東京証券取引所 スタンダード市場へ移行

2022年 12月



ViSCO TECHNOLOGIES Vietnam Co., Ltd. 設立(予定)

会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長	足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー
設立	2003年8月
資本金	493百万円（2022年 9月末現在）
国内事業拠点	大阪、鹿児島
海外事業拠点	中国（上海、深圳、蘇州）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、マレーシア（ペナン州）、台湾（台北）
従業員数	165名（2022年 9月末現在）
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売
証券コード	東京証券取引所スタンダード市場（6698）

# IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、  
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

**Tel : 03-6402-4500**

**Mail : [info-ir@visco-tech.com](mailto:info-ir@visco-tech.com)**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。